

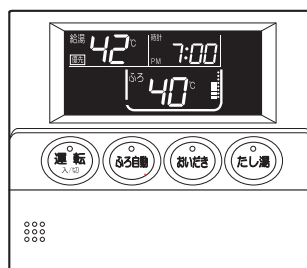
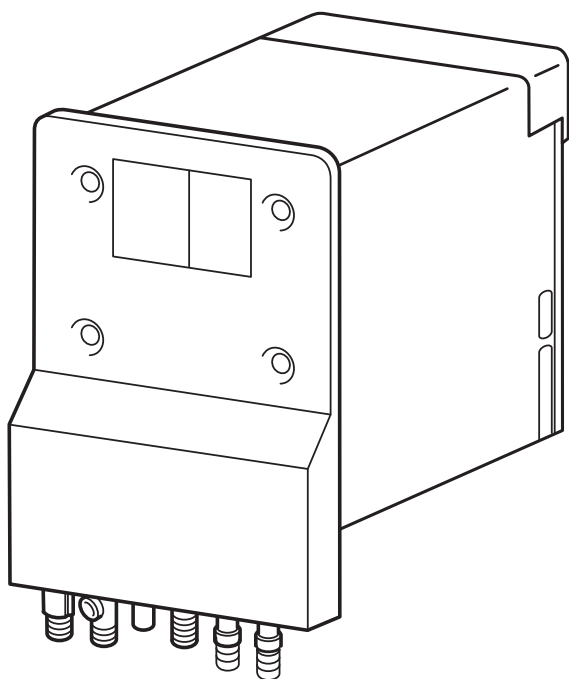
給湯付風呂釜（外壁貫通設置形）

WF-1612AT

WF-1612ATL

WF-805AT

WF-805ATL



保証書付

- このたびは、ハウステック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。



734T0856AA

特長・機能の紹介

1 スイッチポンでお風呂が沸かせます。

ふたをして(ふろ自動)スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



(ふろ自動)スイッチを押して沸き上げ完了後から設定した保温時間なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動でたし湯します。

2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～ 60℃まで設定できます。

目次

●特に注意していただきたいこと	1～6
●各部の名まえとはたらき	7～10
●使用方法	
・初めてお使いいただくときは	11
・時刻の合わせかた	12
・お湯の出しかた(浴室リモコンでの操作)	13～14
・お湯の出しかた(台所リモコンでの操作)	15
・ふろ自動運転(ふろの自動お湯ほりをしたい)	16～18
・おいだき運転(ふろのおいだき・沸かし直しをしたい)	19～20
・たし湯運転(ふろのお湯の量を増やしたい)	21
・ぬるく運転(ふろのお湯を少しぬるくしたい)	22
・かま洗浄運転(ふろ釜内の残り湯を排出したい)	23
・ふろ自動運転予約(予約した時刻にふろを沸かしたい)	24～25
・呼出機能を使う	26
・音量を変える	26
・表示画面のモードを切替える	27
●機器内部の凍結予防方法	28～29
●点検・お手入れ	30～31
●故障かな?と思ったら	32～34
●長期間使用しない場合	35
●寸法図	36
●仕様	37～38
●アフターサービスについて	39
●保証書	巻末

特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

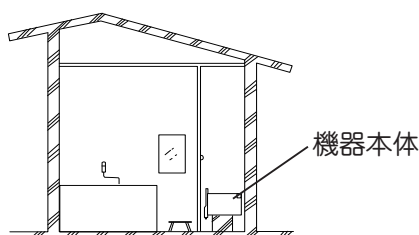
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		ぬれた手の接触禁止

危険

■機器の設置

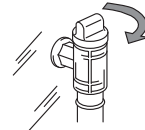
- この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき

- すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。
- お買い求めの販売店やガス会社の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。
ガス爆発の恐れがあります。



[ガス栓の例]



火気禁止

⚠ 警告

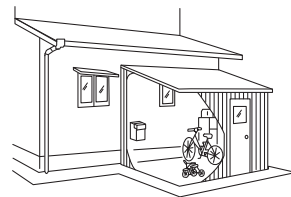
■使用ガスの種類及び使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確認してください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。分からない場合はお買い上げの販売店またはもよりの当社窓口ご連絡してください。

メーカー型式 設置方式		例
ガスの種類及びグループ	→	都市ガス用 13A
ガス消費量	→	
定格電圧	→	AC100V
定格消費電力	→	
定格周波数	→	50Hz / 60Hz
製造年月日及び製造番号	→	04.12 - 00001
製造業者名	→	製造年月 製造番号

■設置場所について

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりのガス会社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- 設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。
- この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いをするもおやめください。
- 増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
変色・破損・腐食の原因となります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮してください。（機器の点検修理のための空間については、販売店または当社窓口にお問い合わせください。）



禁止

■ガス接続

- この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店またはもよりのガス会社に依頼してください。

■使用中の外出、就寝禁止

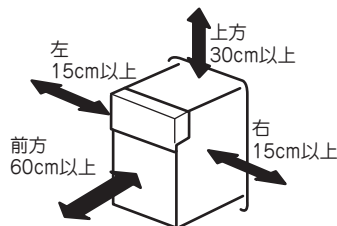
- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。火災の原因になります。

警告

■燃えやすい物とは離す

(樹木、木材、箱など)

- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ(WF-SLV)を使用し、10mm以上の離隔距離を確保してください。
火災予防のため。



必ず行う

■火災予防

- 排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。
- 機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを置いたり使用しないでください。
引火して火災の恐れがあります。
- 機器の周囲や排気トップにスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。



発火注意

■やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用してください。
やけどの恐れがあります。
- 入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。追いだき中や追いだき後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。
やけどの恐れがあります。
- おいだき時は、循環アダプタから熱いお湯がでますので、循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。



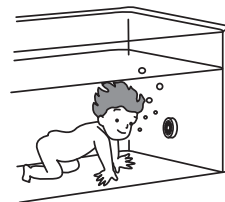
必ず行う



高温注意

■子供に対する注意

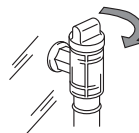
- 浴そうで水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 子供を浴室内で遊ばせないようにしてください。
浴そうに落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

■異常時の処置

- 点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉めて、32～34ページの「故障かな? と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店に連絡してください。
- 地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉じてください。



[ガス栓の例]



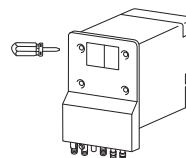
[給水元栓の例]



必ず行う

■分解禁止

- 修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

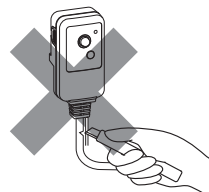


分解禁止

警告

■電気事故の防止

- 電源コードを切断して延長しないでください。
電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります
- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。
電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



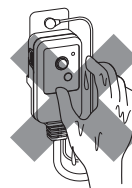
禁止



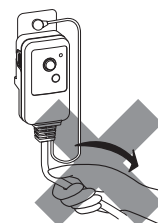
必ず行う



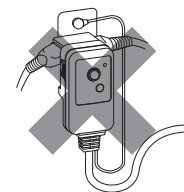
必ず行う



ぬれた手の接触禁止



禁止



禁止

■機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼の恐れがあります。



禁止

■ソーラー接続禁止

- この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをする恐れがあります。



禁止

注意

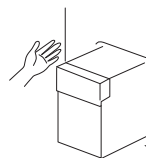
■シャワーセット使用時のご注意

- 高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。
- 高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混せて残り湯を流してください。



■やけどに注意

- 使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



■給気口や排気口に指や棒を入れない

- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
故障やけがの原因となります。

■用途について

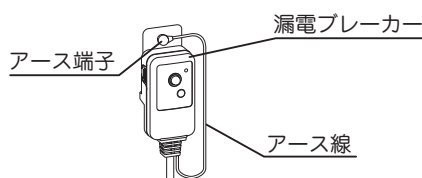
- この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障や事故の原因となります。

■運転停止(消火)時のご注意

- 燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

■電気事故防止

- アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。



お願い

■ガス事故防止

- 機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止

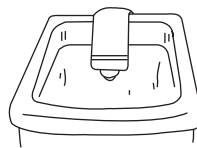
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

■入浴剤や洗剤の使用について

- 硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

■入浴時のご注意

- 浴そう内の循環アダプタをタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、ふろのおいだきができません。
また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。



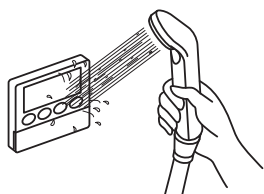
■市販の補助用具使用について

- この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。
機器の異常の原因になることがあります。

お願い

■リモコンの掃除

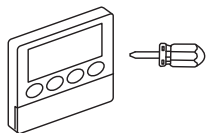
- リモコンは防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については 30 ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



禁 止

■リモコンの分解禁止

- リモコンは分解しないでください。



分解禁止

■飲用についてのご注意

- しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■井戸水、地下水、温泉水使用時のご注意

- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時のご注意

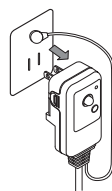
- 断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いはじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

■電気事故防止

- 電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

■雷が発生しているとき

- 雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
機器が故障する恐れがあります。



電源プラグを抜く

■積雪時のご注意

- 積雪で排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用を控えてください。

■停電のときのご注意

- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、11～27 ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■機器内部の凍結予防について

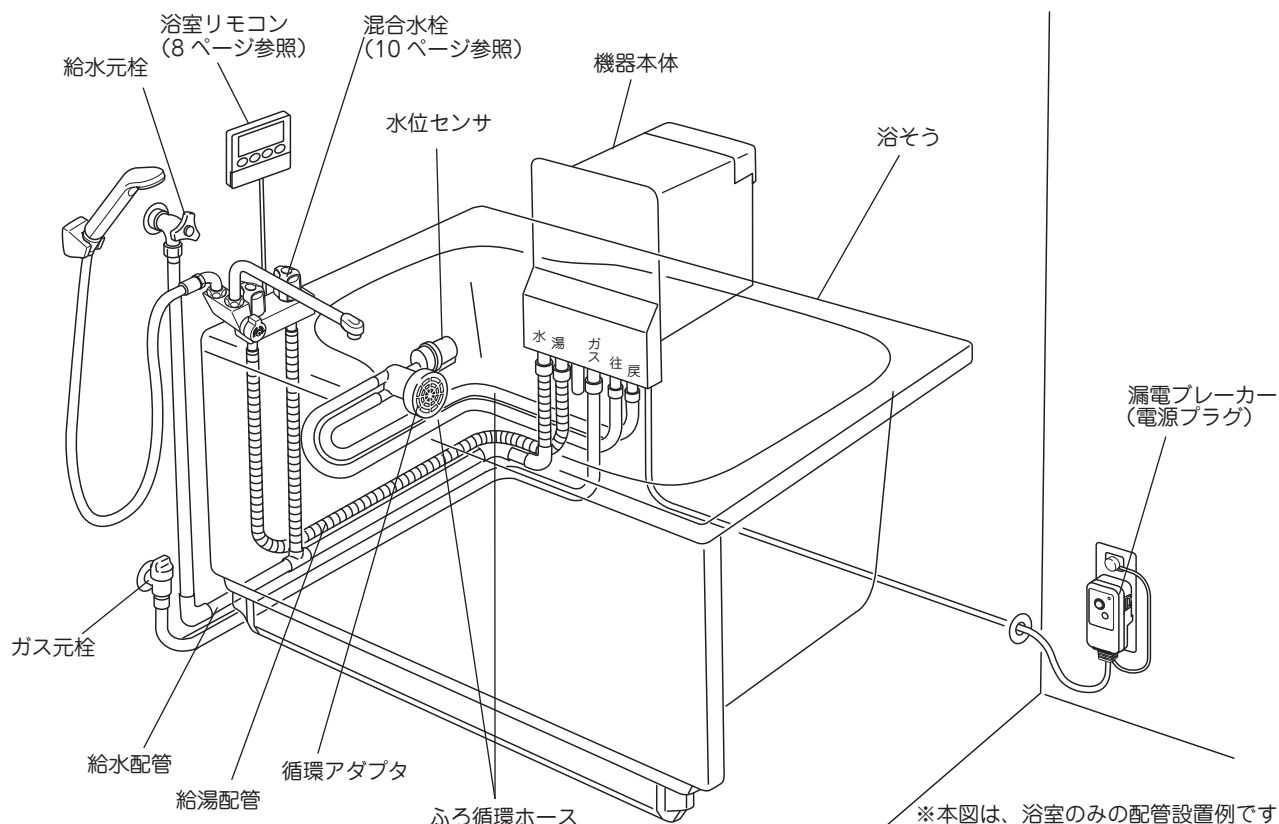
- 機器内部の凍結予防は、28～29 ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため 35 ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

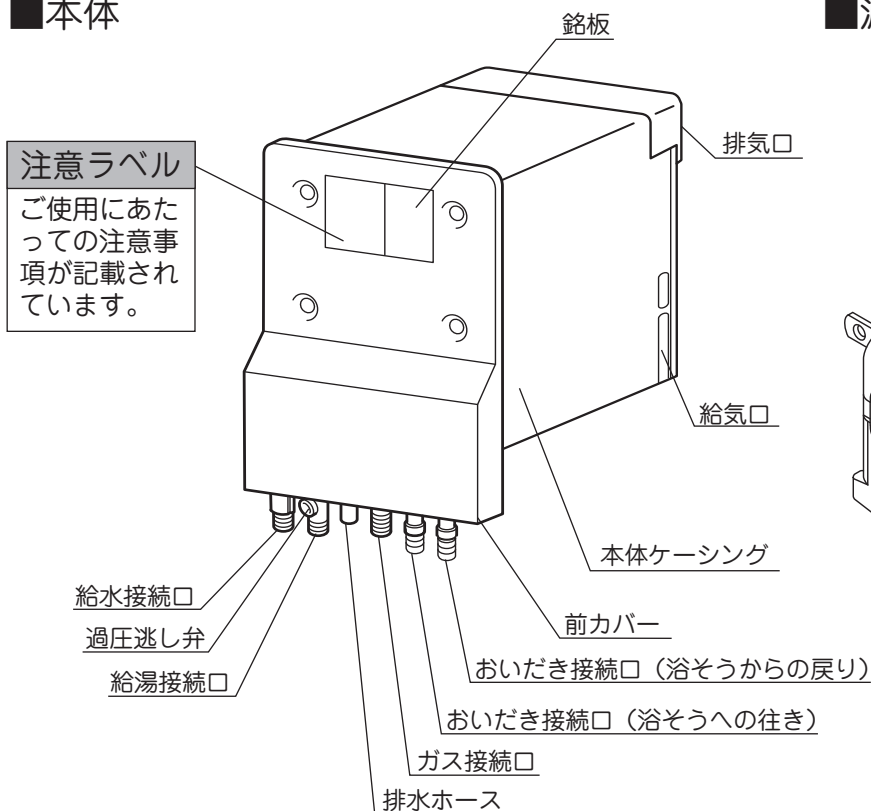
各部の名まえとはたらき

■標準設置例

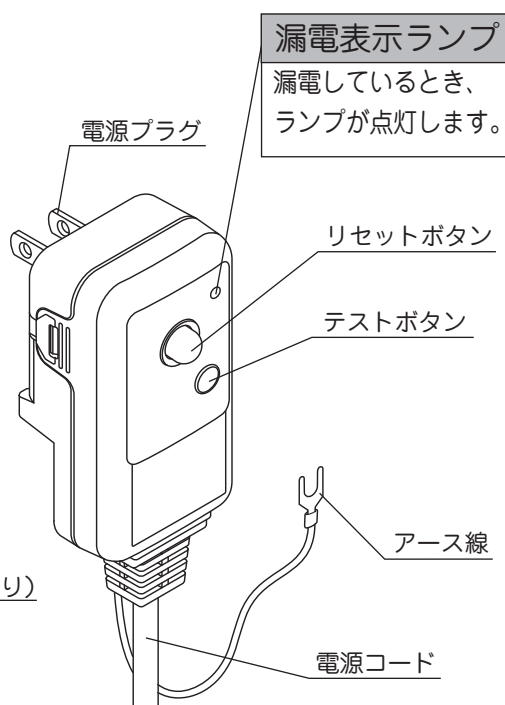


※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面
所等でもお湯が使用できます。別売部
品の台所リモコン (9 ページ参照) も
あります。

■本体

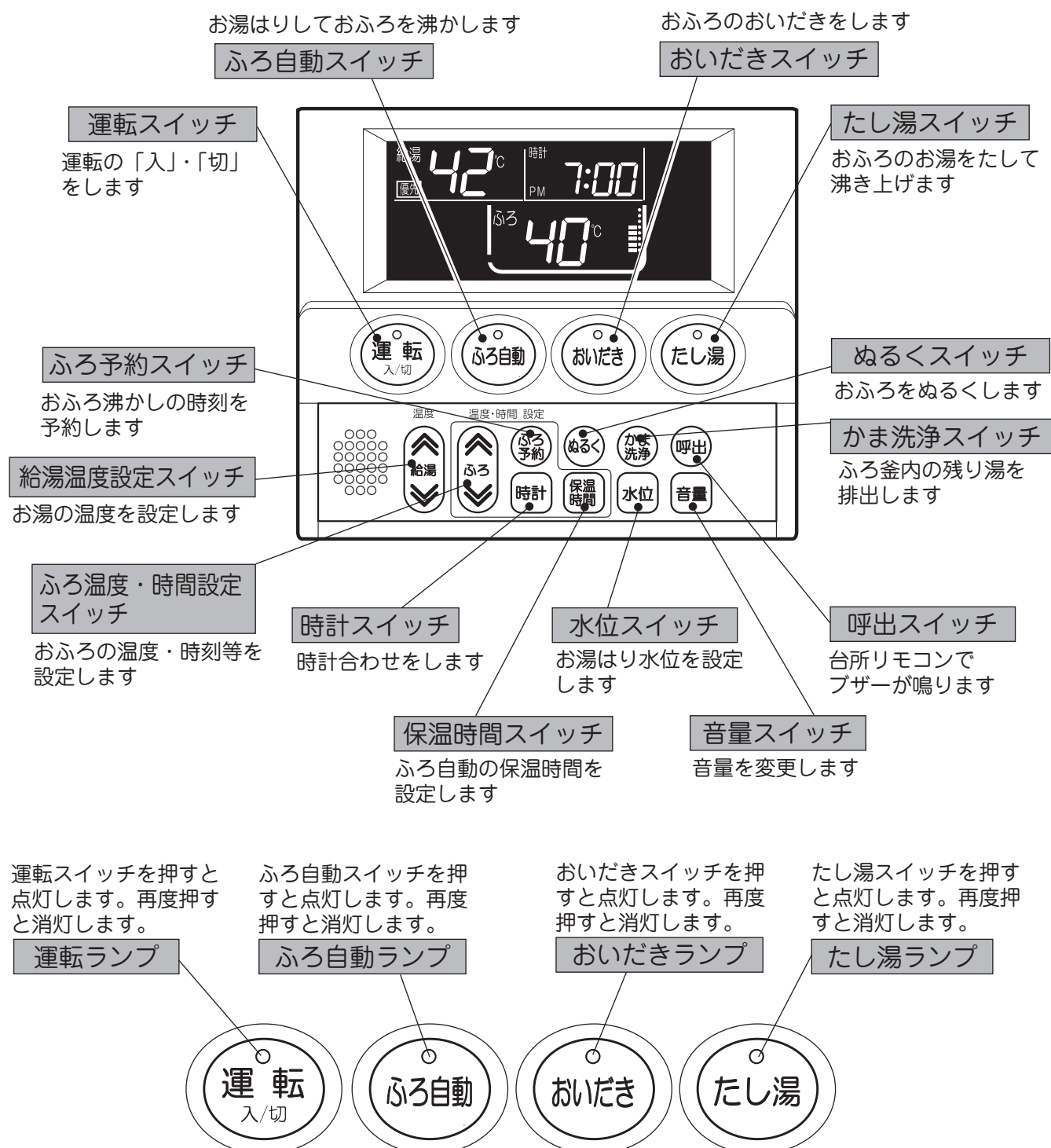


■漏電ブレーカー



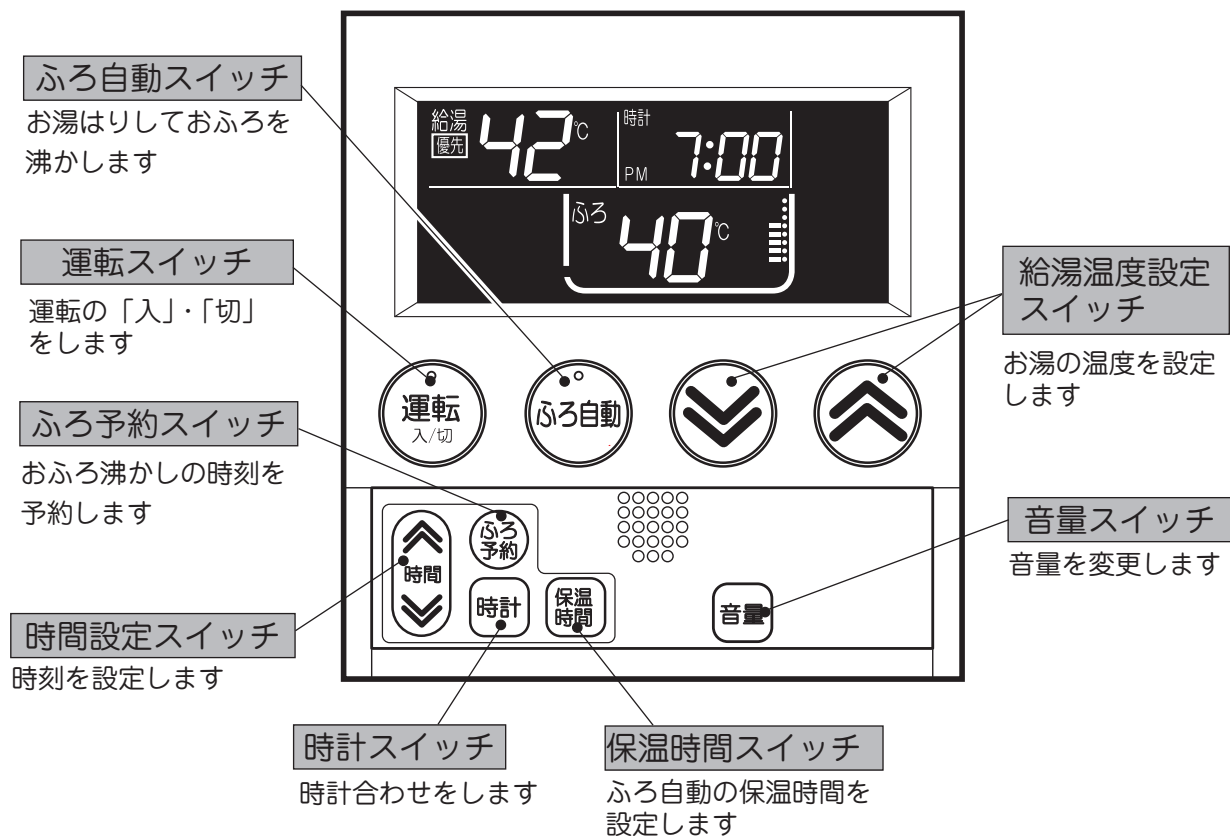
■浴室リモコン (FR-241V)

※フタを開けた状態



■台所リモコン（別売部品 KR-241V）

※フタを開けた状態



運転スイッチを押すと点灯します。再度押すと消灯します。

運転ランプ



ふろ自動スイッチを押すと点灯します。再度押すと消灯します。

ふろ自動ランプ



リモコン使用上の注意点

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

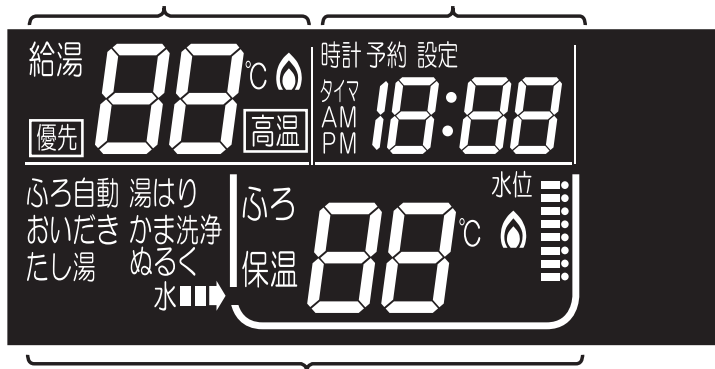
表示部 (浴室リモコンの場合)

給湯表示部

- ・ 給湯設定温度
- ・ 優先表示
- ・ 高温注意表示

時刻表示部

- ・ 時刻表示
- ・ ふろ予約時刻表示
- ・ ふろ保温時間表示
- ・ エラー表示



ふろ運転表示部

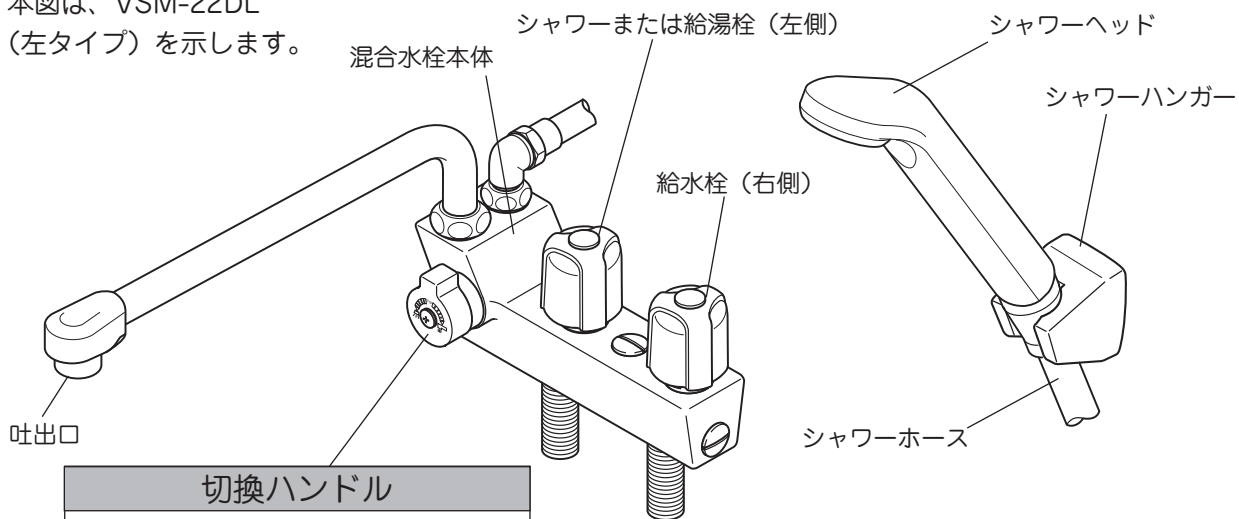
- ・ 各種運転表示
- ・ お湯張り水位表示
- ・ ふろ自動設定温度表示
- ・ お湯張り動作表示

※浴室リモコンのみの場合、優先表示は点灯しません。

※台所リモコンの場合、優先表示位置が変わります。

■専用混合水栓 (別売部品 シャワーセット VSM-22D R/L)

本図は、VSM-22DL
(左タイプ) を示します。



切換ハンドル

右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します。ハンドルのノブを中央付近に合わせると一時的に止水できます。(一時止水機能)

※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓 (シャワーセット) に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。



一時止水のままにしない

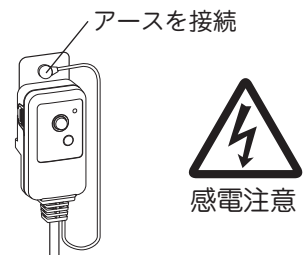
- 一時止水機能を持つ混合水栓使用時に給湯・シャワーを使い終わった後は、切換ハンドル (一時止水) だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。一時止水がきかなくなる恐れがあります。

使用方法 初めてお使いいただくときは

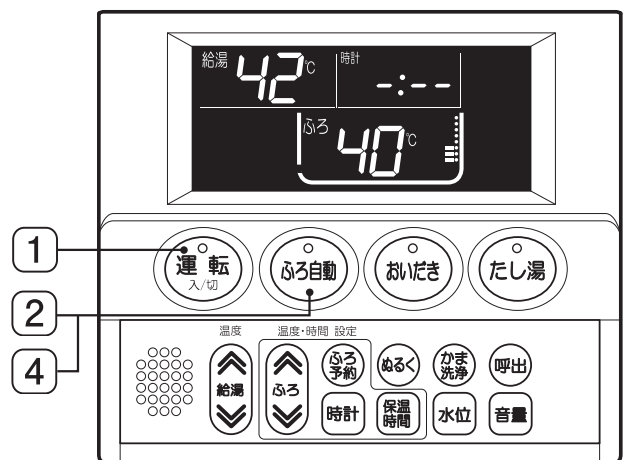
使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっぱいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。
5. ポンプの呼び水をします。
（浴室リモコンで操作）



- 1 「運転」スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。
- 2 「ふろ自動」スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が点灯します。
- 3 浴そうの循環アダプタからお湯が出てくることを確認します。
- 4 「ふろ自動」スイッチを押す。
「ふろ自動ランプ」が消灯します。

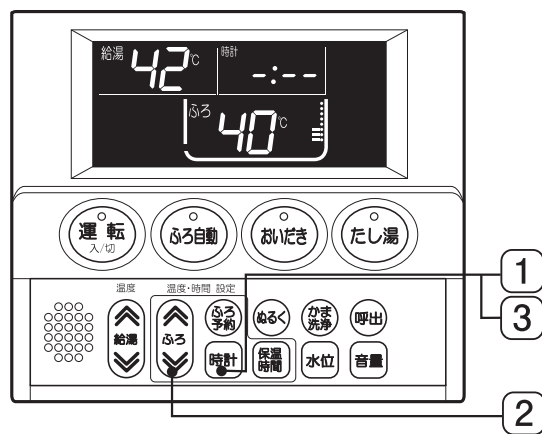


!!! が点滅したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
この場合、浴室リモコンおよび別売部品の台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード **!!!** が点滅し給湯不着火をお知らせします。
このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、 スwitchを押してエラーを解除し、再度 スwitchを押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。

使用方法 時刻の合わせかた

現在時刻の合わせかた



時刻表示部初期状態



・「---」が点滅しています。

- ① 時計を押します。



・「時計」「設定」が点滅します。

- ② ふろ温度・時間設定スイッチで時刻を合わせます。

⤴を1回押すと1分進み、⤵を1回押すと1分戻ります。
長押しすると10分単位で変わります。



・「時計」「設定」が点滅します。

- ③ 時計を押して確定します。



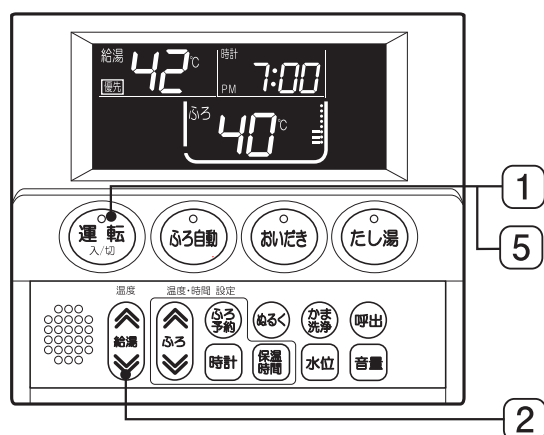
・「時計」「設定」の点滅が止まり、「設定」が消灯し、「:」が点滅します。

※台所リモコンでも同様の操作で時刻を変更できます。



時刻設定をしてください

●現在時刻の設定がされていないと、「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。



お湯を使いたい

器具運転開始

1 を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。
- ・給湯表示部に「給湯」・設定温度が点灯されていることを確認します。



2 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

- リモコンから『給湯温度が変更されました』と、音声でお知らせします。
- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。(37～50℃間は、1℃きざみ)
- スイッチは1回押すたびに1段階ずつ調節できますが、 スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。
- ※一度設定すれば記憶します。
- (電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています)

3 シャワー栓または給湯栓を開けます。

- 燃焼を開始し、給湯表示部に が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。
- (お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)
- ※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコン側の給湯表示部にも が点灯します。



シャワー・給湯停止

器具運転停止

4 シャワー栓または給湯栓を閉めます。

- 燃焼が止まり、給湯表示部の が消灯します。
- (再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



5 もう一度 を押す。

- 「運転ランプ」が消灯します。
- 別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコンの スイッチを押しても運転は停止できます。

シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

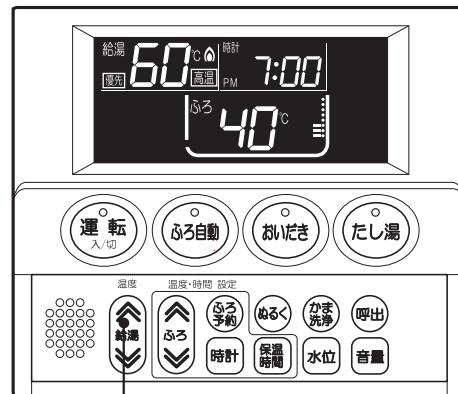
- 給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお勧めします。この場合、給湯温度設定スイッチので湯温を 60℃ に設定して使われることをお勧めします。

60℃設定にすると、設定中は常に「高温」が2秒間隔で点滅します。リモコンから『あついお湯が出ます』と、音声でお知らせします。

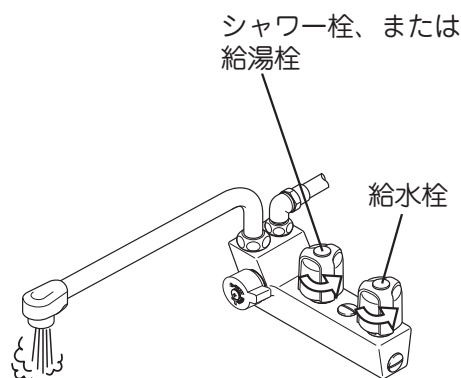
[WF-805AT,805ATL の場合]

※冬期など入水温度が低い場合は 60℃のお湯が出ないことがあります。

- 湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると 比較的易しく操作できます。



給湯温度設定スイッチ



やけどに注意

■やけどに注意

- 湯温を確認してから使用してください。

■混合水栓使用時のご注意

- 高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
- 高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでる恐れがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。



運転を再開する場合

- 運転停止後再びスイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が 37～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が 60℃であったときは安全のため 42℃に戻ります。

使用方法 お湯の出しかた…台所リモコンでの操作

お湯を使いたい

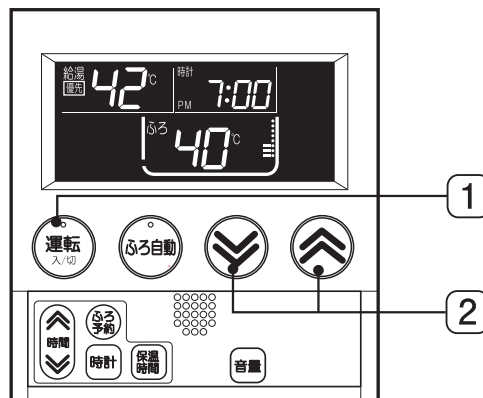
器具運転開始

① 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。
- ・給湯表示部に「給湯」・「優先」が点灯されていることを確認します。

② 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

- リモコンから『給湯温度が変更されました』と、音声でお知らせします。
- 給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。
(37～50℃間は、1℃きざみ)
- スイッチは1回押すたびに1段階ずつ調節できますが、スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。
- ※一度設定すれば記憶します。
(電源投入時または停電復帰後は、42℃設定となっています)
- 60℃設定にすると、給湯表示部に「高温」が2秒間隔で点滅します。
リモコンから『熱いお湯が出ます』と、音声でお知らせします。



③ 台所または洗面所の給湯栓を開けます。

- 燃焼を開始し、給湯表示部にが点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。
(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)



④ 使用後、給湯栓を閉めます。

- 燃焼が止まり、給湯表示部にが消灯します。
- 「給湯」・「優先」はそのまま点灯しています。
- を押すと、器具の運転が停止します。

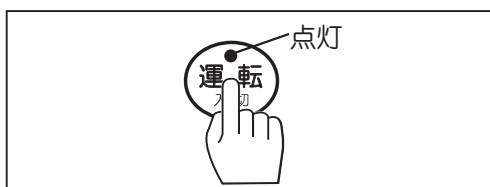


「優先」表示が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。

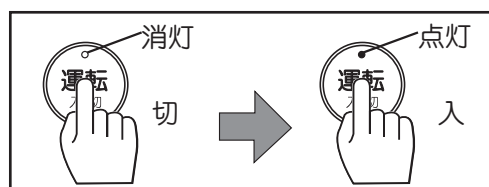
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

- 浴室リモコンを「優先」にしたい
・運転スイッチを押す。



※すでに優先になっている場合は、運転「切」になります。

- 台所リモコンを「優先」にしたい
・運転スイッチをいったん切り、再度入れる。



⚠ シャワー等お湯を使用中切替えないでください。

使用方法 ふろ自動運転…ふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備

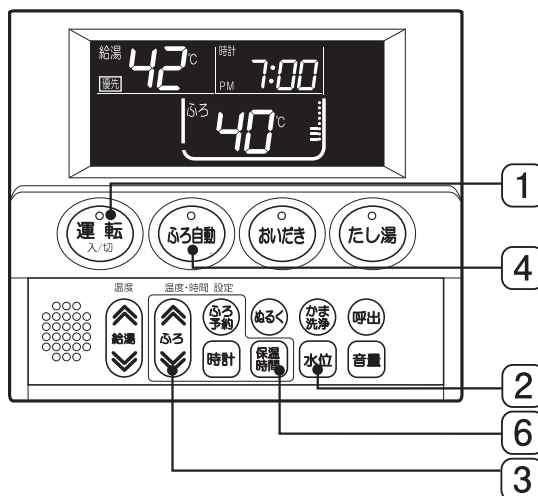
1

排水栓を閉めます。
おふろを沸かす前に必ず排水栓を閉めます。



2

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



排水栓はしっかりと

- 浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

ふろ自動運転の使用方法

1 **運転** を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

2 **水位** を押してお湯はり水位を設定します。

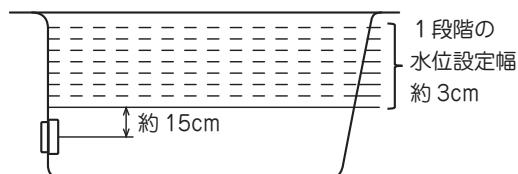
※ **水位** スイッチを押す毎に、水位 3→4→5→6→7→8→1→2→3…と設定できます。

- 希望の水位を1～8の8段階まで選べます。

一度設定すれば記憶します。

(電源投入時または停電復帰後は、
水位3となっています)

- 水位の目安は、循環アダプタの
中心から上方約15cmから約3cm
きざみの8段階となっています。

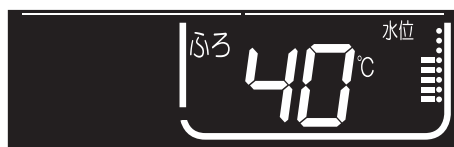


設定水位の目安

※水位設定を高くすると
浴そうによっては、あ
ふれる場合があります。

3 **ふろ温度・時間設定** スイッチの でお好みのふろ温度に設定します。

- リモコンから『ふろ温度が変更されました』と、音声でお知らせします。
- お湯はり温度は、目安ですが、約37～48℃の範囲で1℃ずつ設定できます。
 スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。



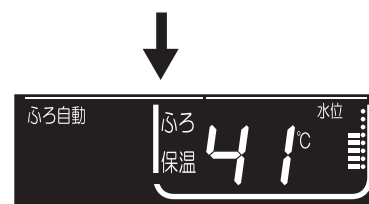
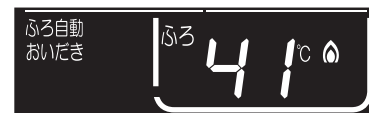
4 〔ふろ自動〕を押します。

- 「ふろ自動ランプ」が点灯、給湯表示部に、ふろ運転表示部に「ふろ自動」、「湯はり」が点灯し、マークが動き自動的にお湯はりが開始されます。
- ふろ自動運転開始時に、リモコンから『お湯はり運転を開始します』と、音声でお知らせします。
- お湯はり中、給湯設定温度の変更はできません。



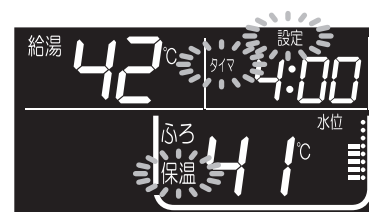
5 沸き上がると自動でストップします。

- おふろの設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まり沸き上げ運転に入ります。ふろ運転表示部に「ふろ自動」、「おいだき」、が点灯し、ふろ自動の設定温度まで沸き上げます。
- 設定温度までの沸き上げが終了しますと, 「おいだき」が消灯、「保温」が点灯し、リモコンからメロディと音声『お風呂が沸きました』でお知らせします。
※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからもメロディと音声でお知らせします。
※「保温」が点灯(初回の沸き上げ完了)するまで, , スイッチは受け付けません。



6 保温時間を設定できます。

- スイッチを押すと、時計表示部に保温時間を表示し「タイマ」、「設定」、「保温」が点滅します。
(電源投入時または停電復帰後は、4 時間設定となっております)
- ふろ温度・時間設定スイッチの/ スイッチを押し、保温時間を設定します。一度設定すれば記憶します。
4 時間 ⇄ 3 時間 30 分 ⇄ 3 時間 ⇄ (30 分刻み) … ⇄ 30 分 ⇄ 0 分
- 再度スイッチを押して保温時間が点灯し確定します。
リモコンから『保温時間が変更されました』と音声でお知らせします。
- 約 3 秒後時計表示に戻ります。
※台所リモコンでも同様の操作で保温時間を設定できます。



7 自動保温・自動たし湯運転となります。

- 初回の沸き上げ完了から、設定した保温時間が経過するとふろ自動スイッチの「ふろ自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。
※途中で、スイッチまたはスイッチを押すと、自動運転を停止します。

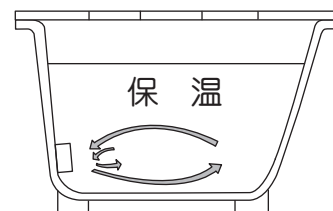


ふろ自動運転ご使用上の注意

- 電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は 40℃、保温時間は 4 時間設定となっております。
- 浴そうに残り湯がある場合もスイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。
- リモコン表示部に保温が点灯中は, , のいずれかのスイッチを押しても自動保温・自動たし湯は解除されません。

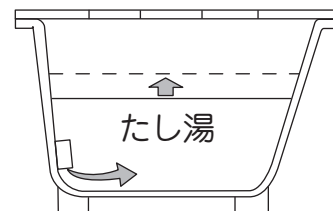
お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

- 保温中は約 20 分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいただきます。このとき、ふろ運転表示部の🔥が点灯します。
- 保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低めに設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。
- 自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から設定した保温時間作動します。



お湯が減れば自動でたし湯します。

- お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約 3cm 下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯をたし湯し、その後設定した温度までおいただきます。このとき、ふろ運転表示部の🔥が点灯します。
- 自動たし湯機能は、初回の沸き上げ完了から設定されている保温時間の間、作動します。



保温運転中に🔥スイッチを押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。



自動運転停止

ふろ自動運転を途中で止めたいときは、再度🔥スイッチを押します。

- 「ふろ自動ランプ」が消灯します。
- ふろ運転表示部の「ふろ自動」「湯はり」が消灯します。



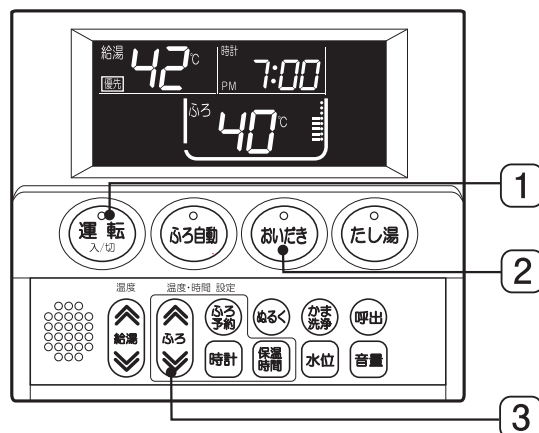
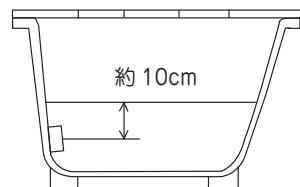
自動お湯はり中の給湯使用について

- 自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
- 配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

使用方法 おいだき運転…ふろのおいだき・沸かし直しをしたい

運転前の準備

- 循環アダプタのキャップが十分つかる程度（循環アダプタ中心より約 10cm 以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。



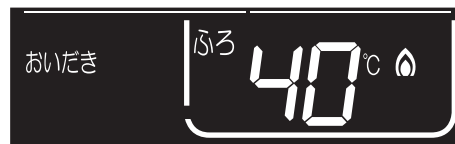
使用方法

① 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

② おいだきを押します。

- リモコンから『おいだき運転を開始します』と、音声でお知らせします。
- 「おいだきランプ」、「おいだき」が点灯して、ポンプがまわり浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。
- しばらくしてふろ運転表示部の ♁ が点灯し、ふろのおいだきを始めます。



③ ふろ温度・時間設定スイッチの ⤴ | ⤵ でお好みのふろ温度に設定します。

- おいだき温度の表示は目安ですが、37～48℃の範囲で1℃ずつ設定できます。

（電源投入時または停電復帰後は、40℃設定となっています）

- スイッチは1回押すたびに1段階ずつ調節できますが、 ⤴ スイッチを押し続けると45℃までは速く動きます。
- おいだき温度を変更してもふろ自動温度は変更されません。



④ 沸き上がると自動でストップします。

- 「おいだきランプ」、ふろ運転表示部の、「おいだき」が消灯し、約 30 秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだきを止めたいときは、再度スイッチを押します。



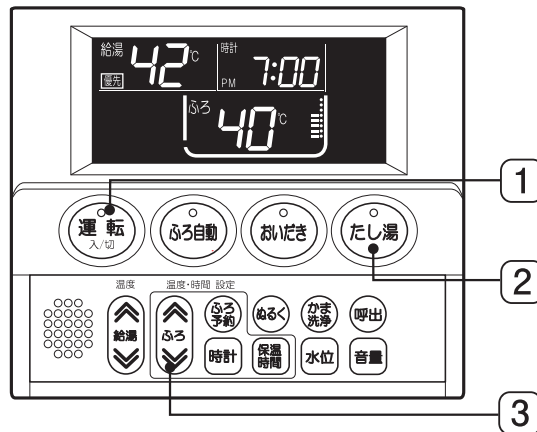
おいだき運転ご使用上の注意点

おいだき中に、、のいずれかのスイッチを押すと、おいだき運転を終了し、各々の動作に移ります。

おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「ふろ自動運転」をおすすめします。



使用方法 たし湯運転…ふろのお湯の量を増やしたい



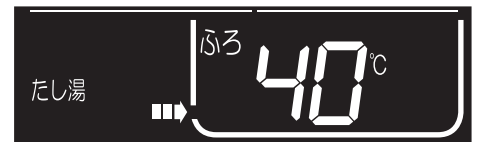
使用方法

① 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

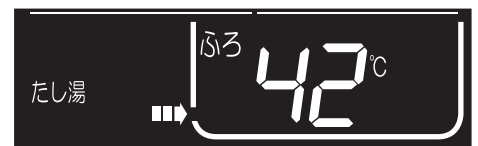
② たし湯を押します。

- 「たし湯」が点灯し、マークが動きます。
- 浴そうの循環アダプタから、お湯（約 20 リットルのたし湯 [注湯]）が出て給湯表示部にが点灯します。



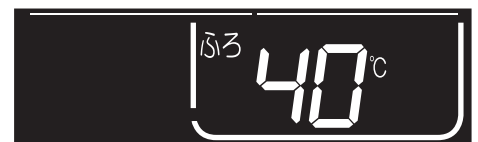
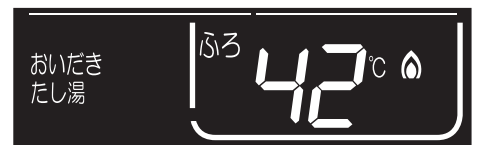
③ たし湯温度を変更できます。

- ふろ温度・時間設定スイッチの(⌞)(⌟)スイッチを押してたし湯温度が変更できます。
たし湯温度の設定は 37 ～ 48℃の範囲の 1℃刻みで設定できます。
(電源投入後または停電復帰後は 40℃となっています)
- 音声でお知らせします。『ふろ温度が変更されました』
※たし湯温度を変更してもふろ自動温度は変更されません。



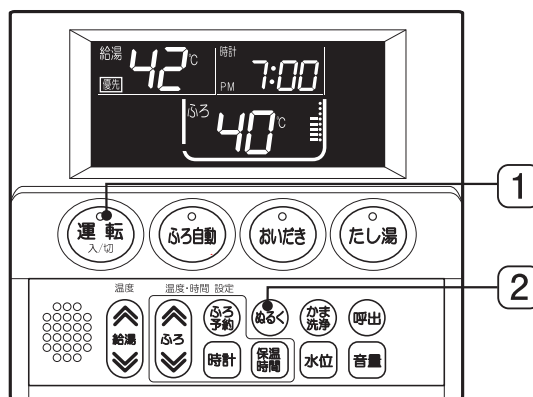
④ たし湯温度まで沸き上げます。

- 約 20 リットルの注湯が終了するとマークが消灯、「おいだき」とふろ運転表示部のが点灯し、たし湯の設定温度までおいだきします。
- 「たし湯」、「おいだき」、が消灯し、沸き上がり停止します。
- たし湯終了後、ふろ自動設定温度表示に戻ります。
- 途中でたし湯運転を止めたいときは(運転)または再度(たし湯)を押してください。



- たし湯温度は、記憶されません。次のたし湯運転開始時のたし湯温度は、ふろ自動の温度になります。
- たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、たし湯量が減少します。
- たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、たし湯温度になります。
- たし湯中に(運転)、(ふろ自動)、(おいだき)、(たし湯)スイッチを押すと、たし湯運転を終了します。

使用方法 めるく運転…ふろのお湯を少しめるくしたい



使用方法

1 運転を押します。

- 「運転ランプ」が点灯します。

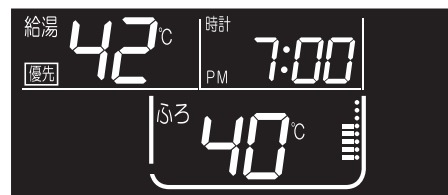
2 めるくを押します。

- 給湯表示部が「—」、ふろ運転表示部が「Lo」に変わります。
- 「めるく」「水」が点灯、□□マークが動き、しばらくして浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
- 約 10L のたし水（注水）を行います。



3 浴そう水をかくはんします。

- 約 20 秒間循環用ポンプが作動し、終了後「めるく」「水」□□マークが消灯します。
- 給湯表示部とふろ運転表示部が以前の温度表示に復帰します。
(めるく運転前の給湯温度が 60℃設定の場合、安全のため 50℃設定になります。)



- 途中でめるく運転を止めたいときは運転または再度めるくを押してください。



めるく運転ご使用上の注意点

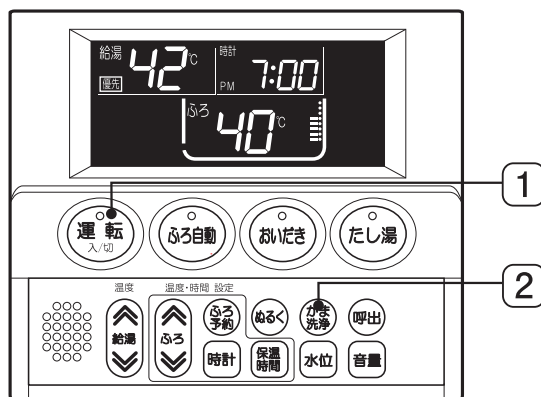
- めるく運転中は、台所やシャワーなどで給湯栓を開けてもお湯は出ません。水になります。
- 注水は給水をそのまま使用します。給水温度が高い場合、浴そう湯温が下がりにくくなります。
- めるく運転中に台所やシャワーなどで給湯栓を開けると、その分だけ、注水量が減少します。
- めるく運転中に運転、ふろ自動、おいだき、たし湯、めるくスイッチを押すと、めるく運転を終了します。
- めるく運転中に給湯温度の変更はできません。
- 給湯燃焼中はめるくスイッチは受け付けません。

使用方法 かま洗浄運転…ふろ釜内の残り湯を排出したい

運転前の準備

1

排水栓を抜いて、
浴そう内の水を排水
します。



使用方法

① 運転を切りにします。

② かま洗浄を押します。

- 「かま洗浄」「水」が点灯し、マークが動き、しばらくして浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
- 約 4L 注水し、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流します。
- 注水が完了すると約20秒間循環用ポンプが作動して、ふろ釜内の残水を排出します。



「かしこい」おふろ掃除の手順



1. おふろの排水栓を抜いて、浴そうを空にします。
2. かま洗浄スイッチを押してふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
3. 浴そうのお掃除をはじめます。
4. 浴そうの排水栓を閉めます。



かま洗浄運転ご使用上の注意点

- かま洗浄運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗浄できません。
- かま洗浄運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。十分な排出ができないことがあります。
- かま洗浄運転中に運転、かま洗浄スイッチを押すと、かま洗浄運転を終了します。
- 使用水圧の違いにより、「かま洗浄」が点灯してから排水が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 長期間おふろを使用しなかった場合は、かま洗浄運転をしてからお使いください。

使用方法 ふろ自動運転予約…予約した時刻にふろを沸かしたい

運転前の準備

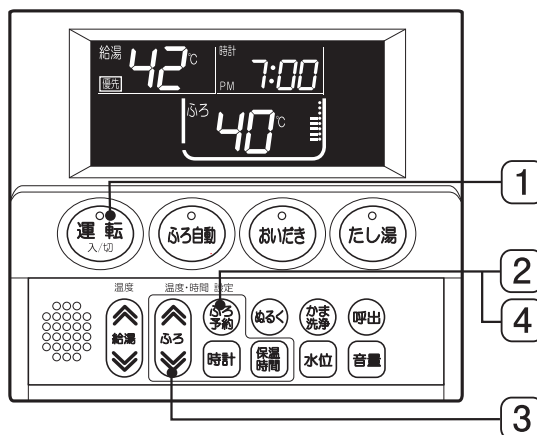
1

排水栓を閉めます。
お風呂を沸かす前に必ず排水栓を閉めます。



2

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。



予約時刻設定

① **運転** を押します。

●「運転ランプ」が点灯します。

② **ふろ予約** を押します。

●「予約」「設定」が点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。

(電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。)



③ ふろ温度・時間設定スイッチの **↑** / **↓** で予約時刻 (入浴したい時刻) を設定します。

●押す度に、1分ずつ変わります。

●押し続けると、10分ずつ早送りできます。

(例、PM 8時に予約)



④ もう一度 **ふろ予約** を押します。

●「予約」「設定」が点灯し、予約時刻が確定されます。

●約3秒後にリモコンから『ふろ運転の予約を受け付けました』と、音声でお知らせします。

●現在時刻表示に戻ります。

●ふろ自動運転予約待機となります。

※台所リモコンでも同様の操作で予約時刻を設定できます。



約3秒後
↓



現在時刻にもどる

予約運転の開始

- 予約した時刻の 30 分前〔WF-805AT,805ATL の場合 45 分前〕になると、「ふろ自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。（現在時刻から、30 分以内〔WF-805AT,805ATL の場合 45 分以内〕に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。）
- 自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、メロディと音声『お風呂が沸きました』にてお知らせします。
※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからもメロディと音声にてお知らせします。
- 初回の沸き上げ完了から設定した保温時間の間は、自動たし湯・自動保温運転を続けます。

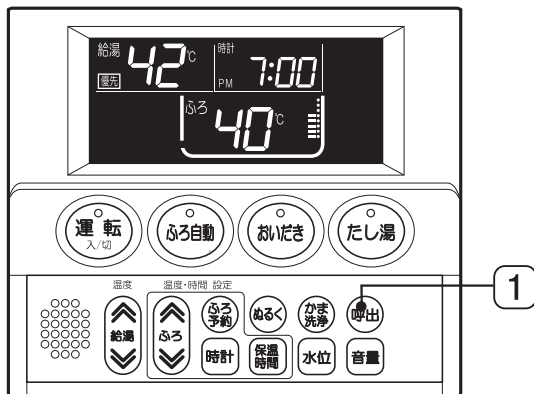


予約自動運転ご使用上の注意点

- 現在時刻の設定がされていないと「ふろ自動運転予約」機能は動作しません。（12 ページ参照）
- ふろ自動運転予約待機中に、予約解除するときは、スイッチを押してください。
- ふろ自動運転予約待機中に, , , , , スイッチを押すと、予約は解除されます。
- 沸き上がりメロディと音声は、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。
- 浴そうに、前日の残り湯が残っている場合（水からの沸き上げ）など、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。
- ふろ自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

使用方法 呼出機能を使う

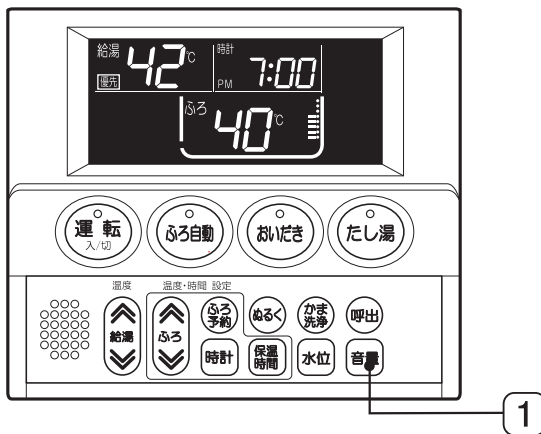
呼出機能は別売の台所リモコンを使用している場合の機能です。



使用方法

- 1 呼出を押します。
- 2 リモコンのスピーカーから呼出音でお知らせします。
 - 「ピッピッピッピッ」が4回鳴ります。
 - ※呼出音の音量調節はできません。

使用方法 音量を変える



使用方法

- 1 音量を押します。
 - スイッチを押すたびに切替わります。

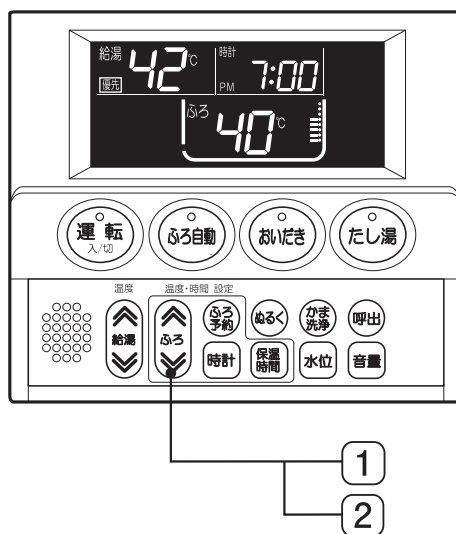
小 ➡ 標準 ➡ 大 ➡ 消す

※別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、
各リモコンで音量設定ができます。
※呼出音の音量は変更されません。

小 : 『音声は小です』
標準 : 『音声は標準です』
大 : 『音声は大です』
消す : 『音声を消します』
とお知らせします。

使用方法 表示画面のモードを切替える

表示画面のモードを節電モード／常時点灯モードに切替えをおこないます。



- ① 風呂温度・時間設定スイッチの $\nearrow$ を同時に約3秒間押します。
 - 切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
 - 節電モードから常時点灯モードに切替わります。
 - 表示画面が点灯します。
- ② もう一度節電モードにする場合は、風呂温度・時間設定スイッチの $\searrow$ を同時に約3秒間押します。
 - 切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
 - 常時点灯モードから節電モードに切替わります。
 - 表示画面が消灯します。

お知らせ

- 通常は、節電モードをおすすめします。
- 節電モードでは、30 分間、操作しないと画面表示が消灯します。
操作すると点灯します。
- 電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
- 台所リモコンをお使いの場合は、台所リモコンの表示モードも変更されます。
- 節電モードでも給湯設定温度が 60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

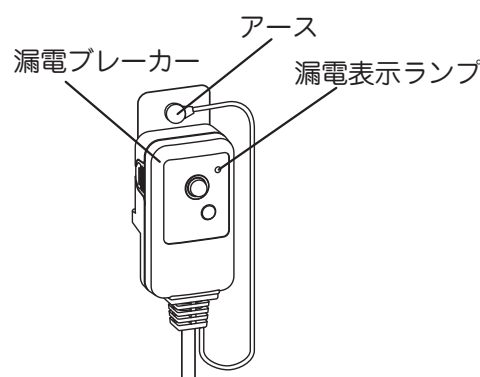
機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

- 電源プラグをコンセントに入れた状態にします。
抜けていると作動しませんので、注意してください。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。
点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。
(31 ページ参照)



- この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。



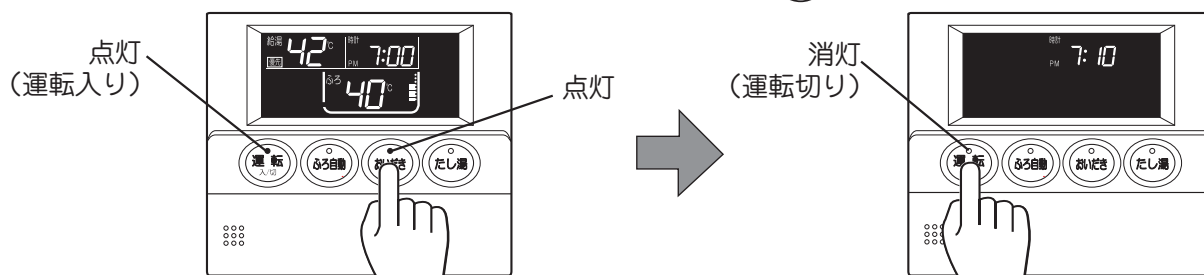
凍結予防に関する注意点

- ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 -15°C まで、有風（ 4 m/秒 ）時 -10°C までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
- ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
- この機器は外気温が -15°C 以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。
(35 ページ参照)

2. 冷え込みの厳しいときの予防方法

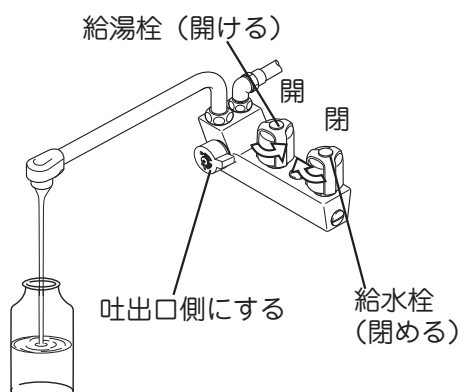
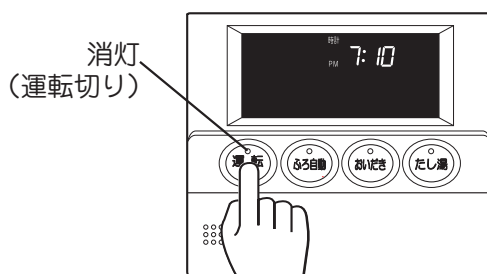
■おいだき側（ポンプの水抜き方法）

- 浴そうの水をぬきます。
- 運転**スイッチを入りにして、**おだき**スイッチを押します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。
浴そうの循環アダプタから水の排出が無くなったなら**運転**スイッチを切りにしてください。



■給湯側（通水による方法）

- (1) リモコン**運転**スイッチを切りにします。
●「運転ランプ」が消灯します。
- (2) ガス栓を閉めます。
- (3) お風呂場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。（流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。）



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行ってください。
(35 ページ（長期間使用しない場合）参照)



凍結したときは

- 凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
- 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- 凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
- 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの当社窓口までご連絡ください。

点検・お手入れ



高温注意

- お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。

機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



分解禁止

- 機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのにおいはしませんか。
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

チェック!



お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。

- ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
- リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
- 循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行ってください。

- ① テストボタンを押します。→漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

●月に1回以上の作動確認を行ってください。

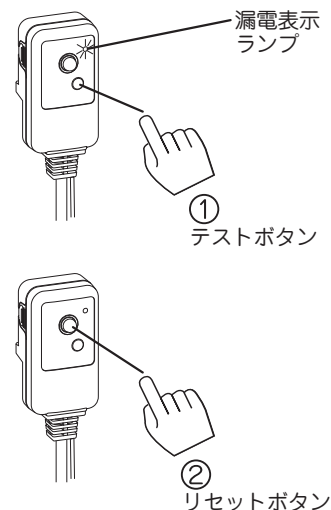
※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの当社窓口へご連絡ください。

※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの当社窓口へご連絡ください。

※作動確認後は設定していた温度、水位、現在時刻、自動運転予約時刻、等が初期値になります。

- ・給湯温度 42℃
- ・お湯はり水位 3
- ・ふろ自動温度 40℃
- ・現在時刻 - : - -
- ・保温時間 4 : 00
- ・自動運転予約時刻 PM 7 : 00
- ・画面表示 節電モード



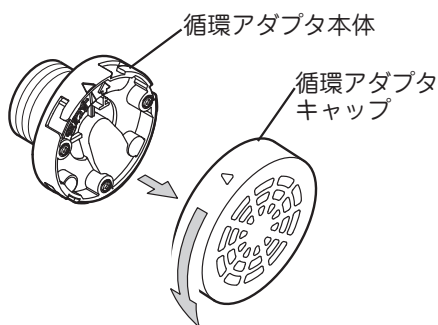
■循環アダプタのお手入れ

●循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。

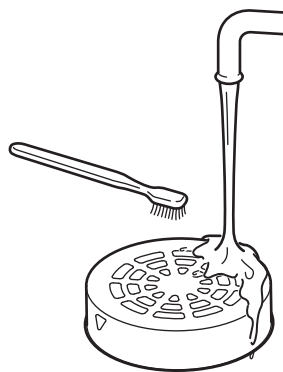
●月に1回以上、掃除してください。循環アダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。



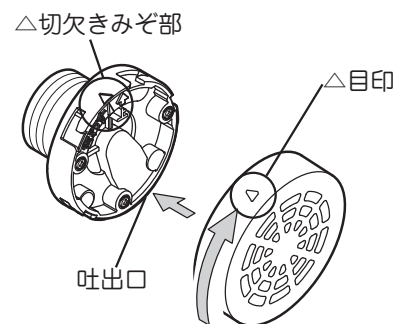
- ① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。



- ② 循環アダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします



- ③ 循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。



※循環アダプタキャップの取付けは、循環アダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。

※循環アダプタキャップは必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

現 象	お 調 べ い た だ き た い こ と
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。(31 ページ) ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。(28,29 ページ)
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていますか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを 2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていますか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水(湯)がふろ循環アダプタより上にありますか。 ●呼び水をしましたか。(11 ページ)
おいだきがすぐ消火してしまう	●ふろおいだき温度設定が低くなっていますか。 ●循環アダプタキャップがはずれていませんか。(31 ページ) ●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。(31 ページ)
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。(31 ページ) ●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(31 ページ)
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※ 1 秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、水位等が初期値になります。(31 ページ)
浴そうの水位が低くなった	●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。(31 ページ)

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処 置
1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 2 2	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火） ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
1 4 0	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
2 5 2	ふろ循環システムの故障または異常	浴そうの循環アダプタキャップが十分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
1 0 1 ※ 1	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。
9 9 1 ※ 1	ファンほこりづまり異常	給湯、自動が使用できない状態ですので、修理依頼してください。
1 0 2 9 0 2 ※ 1	ふろ燃焼異常	おふろを沸かすことはできますが、時間がかかる場合もあります。エラー表示を解除し、たびたびエラー表示が出るときは、修理依頼してください。

※ 1 WF-1612AT, 1612ATL のみ表示します



リモコン表示ランプが点滅しているときは

- この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
- エラーコードの点滅解除は、 スイッチを押します。
- 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（511, 512, 311, 331, 322, 432, 721, 722, 611, 310, 700, 710 など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店か、もよりの当社窓口へご連絡ください。
- 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、31 ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

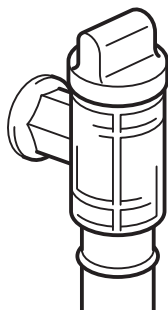
次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させてお風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気が出る	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●給水圧が低い場所で給湯と自動お湯張り等を同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へもお湯を排水しますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2L/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出するか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
ふろ自動お湯はり中に、配管から音がする。ふろ循環アダプタから白いお湯が出る。	ふろ自動お湯はり中に、お湯はり量を絞り器具の異常を診断しているため、水圧が高い場合など配管から音がします。また、水量を絞っているため、お湯が白くなる場合があります。
あついお湯が出ない。 [WF-805AT,805ATL の場合]	冬期など入水温度が低いときに60℃設定されますと、設定温度どおりのお湯が出ない場合があります。
給湯量に変化する [WF-805AT,805ATL の場合]	入水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなります。異常ではありません。

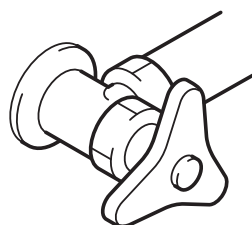
長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1. ガスの元栓を閉じる。



2. 給水元栓を閉じる。



3. 機器の水抜きを行う。

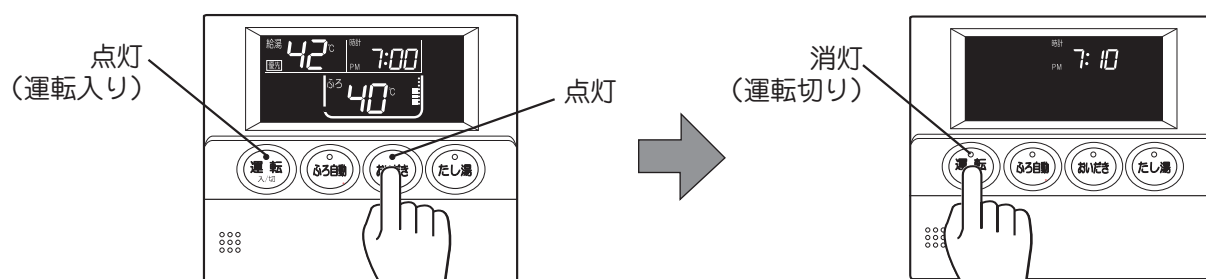
※水抜きの手順

(1) 給水、給湯配管に水抜き栓がある場合は、
水抜き栓を外す。

(2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。

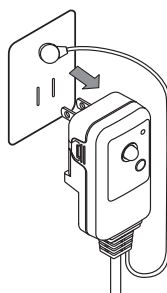
(3) 浴そうの水を排水する。

(4) 運転スイッチ入りにして、お掃除スイッチを押し、ふろ循環アダプタから水の排出がなくなったら運転スイッチを切りにしてください。



※ このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

4. 電源プラグをコンセントから抜く。



●再使用については 11 ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

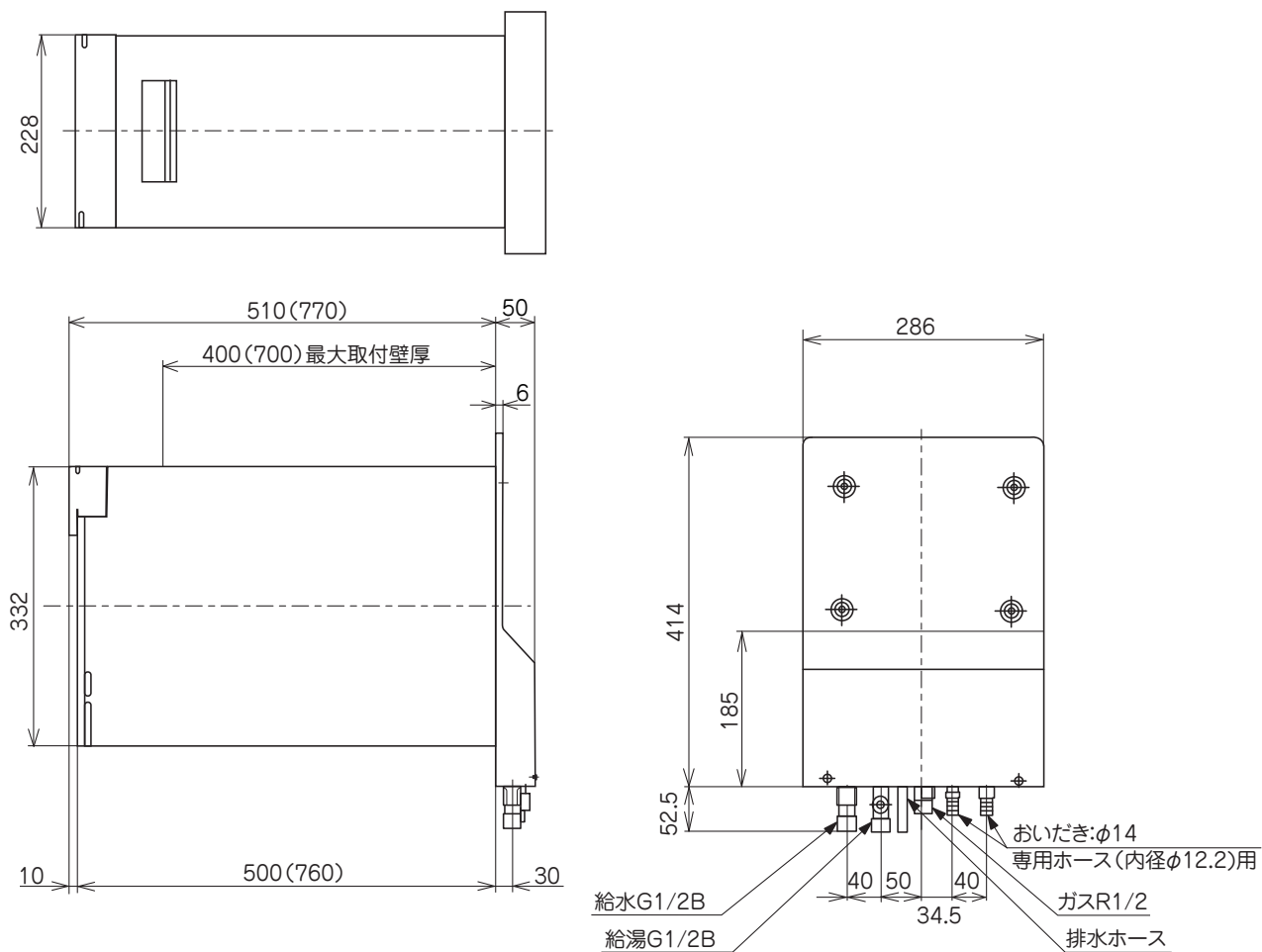
寸法図

■本 体

WF-1612AT,WF-805AT

※ () 寸法は WF-1612ATL,805ATL を示します。

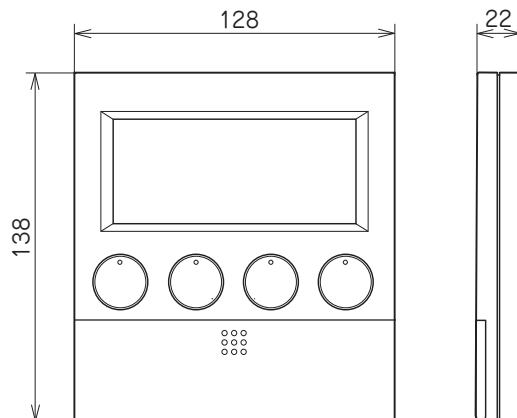
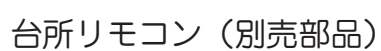
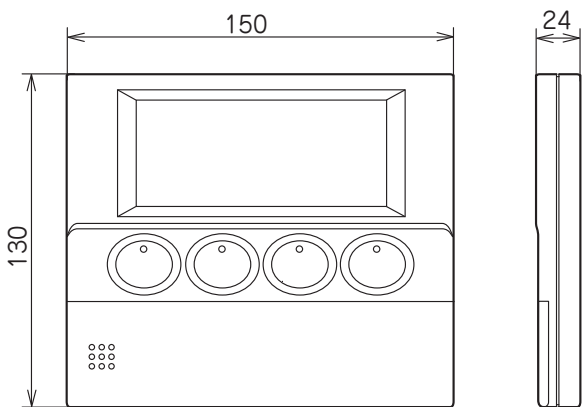
單位：mm



■リモコン

浴室リモコン

單位：mm



仕 様

■ WF-1612AT,WF-1612ATL 仕様表

項 目			仕 様			
本 体 型 式			WF-1612AT			WF-1612ATL
外 形 寸 法（ 本 体 ）			幅 286 ×高さ 467 ×奥行 560mm			幅 286 ×高さ 467 ×奥行 820mm
壁 貫 通 部 寸 法			幅 228 ×高さ 332 ×奥行 510mm			幅 228 ×高さ 332 ×奥行 770mm
質 量（ 本 体 ）			25 kg			30 kg
接 続 寸 法	ガ ス		R1/2（TU 接続）			
	給水・給湯		G1/2B			
	ふ ろ 循 環		φ 14mm 専用継手			
標準ガス 消 費 量 kW	ガ ス 質		13A	12A	LP	13A
	給 湯	最 大	34.9 (30,000kcal/h)	34.9 (30,000kcal/h)	34.9 (2.50kg/h)	34.9 (30,000kcal/h)
		最 小	5.8 (5,000kcal/h)	5.8 (5,000kcal/h)	5.8 (0.42kg/h)	5.8 (5,000kcal/h)
	ふ ろ		9.9 (8,500kcal/h)	9.9 (8,500kcal/h)	9.9 (0.71kg/h)	9.9 (8,500kcal/h)
	同時（最大）		43.0 (37,000kcal/h)	43.0 (37,000kcal/h)	43.0 (3.08kg/h)	34.9 (30,000kcal/h)
電 気 定 格	電 源		AC100V（50 / 60Hz）			
	消 費 電 力 〔給湯・ふろ〕 〔同時使用時〕		115 / 125W			105 / 115W
	凍結予防用ヒーター		64 W			
最 低 作 動 水 圧			19.6 kPa（0.2kgf/cm ² ）			
使 用 水 圧			53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55～ 8kgf/cm ² ）			
制 御 シ ス テ ム	給 湯		フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御			
	ふ ろ		温度設定沸上げ（37～ 48℃）、（給湯比例制御追従式）			
	ファン制御		DC ファンによる回転数制御			
排 気 温 度			260℃以下			
安 全 装 置			・ 立消え安全装置 ・ 沸騰防止装置 ・ 残火安全装置 ・ 過熱防止装置 ・ 漏電ブレーカー ・ 凍結予防用ヒーター ・ ファン回転検知 ・ 過圧逃し弁			

■ 出湯能力

*印は換算相当出湯能力を示す。

ガ ス 種	標準号数 (号)		温度上昇と標準出湯量 (リットル/分)				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A,12A,LP	能力大	16	* 26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—

上記数値は計算値です。

WF-805AT,WF-805ATL 仕様表

項 目			仕 様				
外 形 寸 法（ 本 体 ）			幅 286 ×高さ 467 ×奥行 560mm				
			幅 286 ×高さ 467 ×奥行 820mm ※ 1				
壁 貫 通 部 寸 法			幅 228 ×高さ 332 ×奥行 510mm				
			幅 228 ×高さ 332 ×奥行 770mm ※ 1				
質 量（ 本 体 ）			22 kg				
			27 kg ※ 1				
接 続 寸 法	ガ ス		R1/2（TU 接続）				
	給水・給湯		G1/2B				
	ふ ろ 循 環		φ 14mm 専用継手				
標準ガス 消 費 量 kW	ガ ス 質		13A	12A	6A ※ 2	L1 ※ 2	LP
	給 湯	最 大	18.0 (15,500kcal/h)	16.9 (14,500kcal/h)	18.0 (15,500kcal/h)	18.0 (15,500kcal/h)	18.0 (1.29kg/h)
		最 小	5.8 (5,000kcal/h)	5.5 (4,700kcal/h)	5.8 (5,000kcal/h)	6.7 (5,800kcal/h)	5.8 (0.42kg/h)
	ふ ろ		9.9 (8,500kcal/h)	9.2 (7,900kcal/h)	9.9 (8,500kcal/h)	9.9 (8,500kcal/h)	9.9 (0.71kg/h)
	同時（最大）		25.0 (21,500kcal/h)	23.3 (20,000kcal/h)	24.4 (21,000kcal/h)	24.4 (21,000kcal/h)	25.0 (1.79kg/h)
電 気 定 格	電 源		AC100V（50 / 60Hz）				
	消 費 電 力		100 / 110W（給湯・ふろ同時使用時）				
	凍結予防用ヒーター		64 W				
最 低 作 動 水 圧			19.6 kPa（0.2kgf/cm ² ）				
使 用 水 圧			53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55～ 8kgf/cm ² ）				
制 御 シ ス テ ム	給 湯		フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御				
	ふ ろ		温度設定沸上げ（37～ 48℃）、（給湯比例制御追従式）				
	ファン制御		DC ファンによる回転数制御				
排 気 温 度			260℃以下				
安 全 装 置			・ 立消え安全装置 ・ 沸騰防止装置 ・ 残火安全装置 ・ 過熱防止装置 ・ 漏電ブレーカー ・ 凍結予防用ヒーター ・ ファン回転検知 ・ 過圧逃し弁				

※ 1 は WF-805ATL の寸法、質量です。
 ※ 2 は WF-805AT のみの対応となります。

出湯能力

* 印は換算相当出湯能力を示す。

ガ ス 種	標準号数 （号）		温度上昇と標準出湯量（リットル／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A,LP	能力大	8.2	* 13.7	8.2	6.8	5.1	4.1
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—
12A	能力大	7.7	* 12.8	7.7	6.4	4.8	3.9
	能力小	2.4	3.9	2.4	—	—	—
6A	能力大	8.0	* 13.3	8.0	6.7	5.0	4.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—
L1	能力大	8.2	* 13.7	8.2	6.8	5.1	4.1
	能力小	3.0	5.0	3.0	—	—	—

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に

「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。

それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名・・・機器本体の銘板を確認ください。
2. 購入日
3. 故障、異常の現象・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

●混合水栓のアフターサービスについては、買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

定期点検のおすすめ（有料）

●機器をより安全にお使いいただくために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。また、機器の取替え目安年数は 10 年となります。

●本機器は給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 4～6 年に 1 回程度の点検をおすすめします。

●点検は買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761**（有料）

販売・施工など業者様

0570-071-761（有料）

●受付時間 平日 9:00～17:30（12:00～13:00を除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471**（有料）

販売・施工など業者様

0570-022-471（有料）

●受付時間 365日 24時間
（修理訪問は日中、地域により休日あり）

補修部品のご購入は（代引き販売窓口）

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621**（有料）

販売・施工など業者様

0570-022-350（有料）

●受付時間 平日 9:00～17:30（12:00～13:00を除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

※補修部品の交換は専門知識が必要のため、ご購入可能な補修部品は、専門知識を要せず、工具を使わない部品のみを対象としています。
修理のご依頼は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。



メモ欄として活用してください。



メモ欄として活用してください。

保証書

品名コード

WF-1612AT, WF-1612ATL, WF-805AT, WF-805ATL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の当社窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
 - (ロ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じる故障および損傷。
 - (ハ) 工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - (ニ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - (ヘ) 適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ト) 電気、ガス、給水の供給事情および給水・給湯配管の錆など異物混入による故障および損傷。
 - (チ) 指定規格以外のガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用された場合。
 - (リ) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - (ヌ) 海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性のガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
 - (ル) 温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷。
 - (ヲ) ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - (ワ) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - (カ) 熱量変更に伴う改造・調整の場合。
 - (ヨ) 本書の提示がない場合。
 - (タ) 本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お客様	お 名 前	TEL
	ご 住 所 〒	
保証期間	お買い上げ	年 月 日から 1 年間
販売店	店 名	TEL
	住 所 〒	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください

年 月 日	修 理 記 録 (修 理 内 容)	サービスマン (印)

株式会社 ハウステック

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1-1

www.housetec.co.jp